

第6章 推進目標

達成状況を把握するため、推進目標を定め達成を目指します

計画の推進目標

松戸市食育推進計画は、3つの基本目標のもと10の施策の方向性について、達成状況を把握するため、15の推進目標を定め、平成25年度までに達成することを目指します。なお、推進計画の中間地点にあたる平成22年度には、市民アンケートを実施し、進捗状況を把握し目標の達成に役立てます。

・基本理念

食の大切さと郷土のすばらしさを知り、
生涯を通じて健やかに生きる

・基本目標1

食の大切さを見直し のぞましい食習慣を身につける

施策の方向

「もったいない」ライフの実践

行事食や郷土の特産物に関する知識を学ぶ

友人や家族など多世代で食を楽しむ機会を増やす

料理を気軽に楽しく実践する

・推進目標

食育の推進に関わるボランティアの数

年間に行事食を5回以上とる市民の割合

家庭で調理をする子どもの割合

子どもの食育で「食を通じたコミュニケーション」が重要と考える市民の割合

ごみ原単位

(一人一日あたり排出するごみの量) 推移

・基本目標2

地域でとれる食材の魅力や食の成り立ちを学ぶ

施策の方向

松戸産の野菜の直売情報を提供し地産地消の促進

オーナー農園、市民農園など消費者と農家との交流の促進

学校、保育所など給食を活用した「食に関する指導」の推進

・推進目標

学校給食における松戸産野菜（代表的な冬野菜）を使用する割合

農作業体験を趣味とする市民の割合

地元産の食材を購入する割合

・基本目標3

選食力を養いよくかんで 心も身体も健やかになる

施策の方向

健全な食生活に関する指針の普及

ライフステージに応じた食生活の実践

食の流通や安全に関する情報の活用

・推進目標

食育に関心を持っている市民の割合

朝食を欠食する子どもの割合

食事バランスガイド等を参考に食生活を送っている市民の割合

内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を認知する市民の割合

食品安全性に関する基礎知識を持つ市民の割合

歯磨きを一日に2回以上する市民の割合

食事がおいしいと感じる市民の割合

推進目標

項目	対象	実績値	中間値	目標値	国
		19 年 度	22 年 度	25 年 度	18 年度
学校給食における松戸産野菜 (代表的な冬野菜)を使用す る量の割合	ねぎ	33%	50%	80%	23.7%
	かぶ	22%	35%	50%	
	小松菜	54%	70%	80%	
	ほうれんそう	62%	70%	80%	
食育に関心を持っている割合	20 歳以上	85%	90%	92%	69.5%
朝食を欠食する子どもの割合 1	小学 2 年生	1.2%	0.6%	0%	3.5%
	小学 5 年生	2.7%	1.3%	0%	
	中学 2 年生	10.8%	5.4%	0%	
食事バランスガイド等を参考 に食生活を送っている市民の 割合	20 歳以上	50%	65%	80%	58.8%
内臓脂肪症候群(メタボリッ クシンドローム)を認知して いる市民の割合	20 歳以上	90%	95%	100%	77.3%
食品の安全性に関する基礎的 な知識を持っている市民の割 合	20 歳以上	51%	65%	80%	66.4%
農作業体験を趣味とする市民 の割合	20 歳以上	27%	40%	50%	—
地元産の食材を購入する割合	20 歳以上	59%	65%	80%	—

食育の推進に関わるボランティアの数	食生活改善推進員・食育ボランティア会員数等	30人	45人	60人	—
年間に行事食を5回以上とる市民の割合	20歳以上	55%	65%	80%	—
家庭で調理をする子どもの割合	小学生～高校生	51%	65%	80%	—
子どもの食育で「食を通じたコミュニケーション」が重要と考える市民の割合	20歳以上	96%	98%	100%	—
ごみ原単位の推移 2		877g	870g	866g	—
一日2回以上歯磨きをする市民の割合	20歳以上	85.6%	90%	100%	—
食事がおいしいと感じる市民の割合	20歳以上	96.9%	100%	100%	—

1：実績値 平成17年度、中間値 平成20年度、目標値 平成23年度

2：一人一日あたり市のごみ処理に出されたごみの量。年間総ごみ量を10月1日現在の人口で除し一日あたりに換算したもの。（実績値は、平成18年度実績値）